



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 長瀬産業株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括 (氏名) 古川 方理 TEL 03(3665)3103  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	161,896	23.1	5,611	248.6	6,425	209.9	3,430	244.0
22年3月期第1四半期	131,520	△29.9	1,609	△65.6	2,072	△61.6	997	△68.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	26.69	—
22年3月期第1四半期	7.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	366,380	202,140	53.1	1,514.05
22年3月期	368,088	202,753	53.1	1,519.61

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 194,628百万円 22年3月期 195,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	323,000	14.8	7,500	42.5	8,000	38.0	4,600	48.6	35.78
通期	647,000	7.1	15,000	14.3	16,200	10.1	9,500	26.0	73.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社（ — ） 除外 一社（ — ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	138,408,285株	22年3月期	138,408,285株
23年3月期1Q	9,860,125株	22年3月期	9,859,357株
23年3月期1Q	128,548,463株	22年3月期1Q	128,560,758株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了してありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. (参考) 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績全般の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、主に中国を中心とするアジアの旺盛な需要に主導され回復基調となりました。

このような状況のもと、当第1四半期の業績は、国内販売は970億5千万円（前年同期比17.2%増）、海外販売が648億4千万円（同33.2%増）となり、売上高は1,618億9千万円（同23.1%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は56億1千万円（同248.6%増）、経常利益は64億2千万円（同209.9%増）、四半期純利益は34億3千万円（同244.0%増）となりました。

#### セグメント別概況

##### 【化成品】 売上高：641億1千万円 前年同期比22.3%増

化成品につきましては、景気回復による化成品業界全体の需要増加により、塗料原料やウレタン原料、樹脂原料・添加剤などを扱う機能化学品事業、染料・顔料などをはじめとする「色」に関連した商品を取扱う色材事業、また、界面活性剤および工業用油剤、シリコンやフッ素関連などの有機合成原料を幅広く取扱うスペシャリティケミカル事業の全ての事業で売上が大幅に増加しました。

##### 【合成樹脂】 売上高：527億9千万円 前年同期比37.5%増

合成樹脂につきましては、海外での販売が、北東アジア、東南アジアおよび北米地域の全てにおいて増加しました。また、国内においても、OA・家電関連用途、自動車関連用途が増加した他、機能性フィルム・シート、樹脂成形品関連用途においても増加したため、全体として売上が大幅に増加しました。

##### 【電子】 売上高：317億9千万円 前年同期比21.1%増

電子につきましては、液晶用フィルム、タッチパネル用部材などを扱うディスプレイ関連の売上が大きく伸長し、また、精密研磨剤関連もハードディスク用途、シリコンウエハー用途共に増加しました。半導体および液晶パネル製造用薬液は好調な需要を受け増加し、変性エポキシ樹脂関連も自動車関連の復調、携帯電話向けの好調な需要を受け大幅に増加しました。海外についても大幅に増加し、全体として売上が大幅に増加しました。

##### 【ライフサイエンス】 売上高：129億5千万円 前年同期比8.5%減

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業における発酵生産物関連の売上は横ばいとなりましたが、医薬中間体および農薬原料などの売上は減少しました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア事業の売上は堅調に推移しましたが、全体として売上が減少しました。

##### 【その他】 売上高：2億2千万円 前年同期比22.5%減

特記すべき事項はありません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、売上の増加に伴う売上債権や棚卸資産の増加等がありましたが、株価の下落による投資有価証券時価評価額の減少および運転資金の増加による現預金の減少等により、前期比17億円減少の3,663億8千万円となりました。

負債は、短期借入金の増加等がありましたが、引当金や繰延税金負債の減少等により、前期比10億9千万円減少の1,642億4千万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により、前期比6億1千万円減少の2,021億4千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末と同じ53.1%となりました。

### 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上の増加に伴う売上債権や棚卸資産の増加により運転資金が増加したものの、税金等調整前四半期純利益58億3千万円の計上等により、7億2千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、21億1千万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加があったものの、配当金の支払い等により7億円の支出となりました。

以上の結果に、新規連結による現金同等物の増加の2億円を加え、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ17億円減少し、411億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成22年4月28日に公表した数値に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号平成20年3月10日）を適用しております。

尚、この変更による損益への影響はありません。

②当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

尚、この変更による損益への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,401	42,807
受取手形及び売掛金	189,611	186,985
商品及び製品	30,494	28,456
仕掛品	605	566
原材料及び貯蔵品	2,052	2,029
その他	9,550	8,880
貸倒引当金	△1,826	△1,951
流動資産合計	271,889	267,775
固定資産		
有形固定資産	39,514	40,322
無形固定資産	2,474	2,522
投資その他の資産		
投資有価証券	48,689	53,688
その他	4,032	4,164
貸倒引当金	△220	△384
投資その他の資産合計	52,502	57,468
固定資産合計	94,491	100,313
資産合計	366,380	368,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,644	108,643
短期借入金	11,866	10,412
未払法人税等	2,261	1,992
引当金	2,388	3,065
その他	12,764	12,999
流動負債合計	137,925	137,114
固定負債		
長期借入金	10,460	11,104
繰延税金負債	7,956	9,498
退職給付引当金	6,975	6,815
その他	923	802
固定負債合計	26,315	28,221
負債合計	164,240	165,335

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,040	10,040
利益剰余金	173,508	171,286
自己株式	△5,428	△5,427
株主資本合計	187,821	185,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,488	14,961
繰延ヘッジ損益	△7	8
為替換算調整勘定	△4,673	△5,225
評価・換算差額等合計	6,807	9,744
新株予約権	235	235
少数株主持分	7,276	7,173
純資産合計	202,140	202,753
負債純資産合計	366,380	368,088

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	131,520	161,896
売上原価	117,384	143,323
売上総利益	14,135	18,573
販売費及び一般管理費	12,525	12,961
営業利益	1,609	5,611
営業外収益		
受取利息	45	42
受取配当金	397	548
持分法による投資利益	44	79
その他	228	323
営業外収益合計	716	994
営業外費用		
支払利息	174	135
その他	78	45
営業外費用合計	253	181
経常利益	2,072	6,425
特別利益	54	213
特別損失	141	804
税金等調整前四半期純利益	1,985	5,833
法人税、住民税及び事業税	455	2,181
法人税等調整額	489	54
法人税等合計	945	2,236
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,596
少数株主利益	43	166
四半期純利益	997	3,430

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,985	5,833
減価償却費	1,231	1,540
売上債権の増減額(△は増加)	17,040	△1,566
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,001	△1,704
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,088	△554
その他	△1,024	△1,493
小計	23,145	2,056
利息及び配当金の受取額	489	641
利息の支払額	△171	△134
法人税等の支払額	△928	△1,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,535	721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,501	△1,312
その他	△590	△801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,092	△2,113
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,741	597
配当金の支払額	△1,028	△1,156
その他	△190	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,960	△705
現金及び現金同等物に係る換算差額	453	193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,935	△1,904
現金及び現金同等物の期首残高	36,137	42,807
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	204
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,079	41,107

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## ① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に取扱商品または対象業界別の事業部をおき、各事業部は取り扱う商品についての国内及び海外の包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎とした商品・対象業界別のセグメントから構成されており、「化成品」「合成樹脂」「電子」「ライフサイエンス」を報告セグメントとしております。

「化成品」はさまざまな化成品を幅広い業界に対して販売を行っており、主な商品は染料、顔料、情報記録紙関連商品、機能性色素、塗料・インキ用材料、ウレタン原料、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコン原料等です。

「合成樹脂」は、自動車及び自動車部品、家電・OA機器、住設関連業界等に対して販売を行っており、主な商品は熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機等です。

「電子」は、ディスプレイ、タッチパネル、液晶、半導体、電子部品、重電業界等に対して販売を行っており、主な商品はLCD・半導体前工程用材料及び装置、LCDパネル用部材、半導体アセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂等です。

「ライフサイエンス」は、医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品の販売、化粧品・健康食品・美容食品の販売、ならびに放射線測定サービス等です。

## ② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客に 対する売上高	64,113	52,798	31,798	12,958	161,668	227	161,896	—	—	161,896
セグメント間 の内部売上高	593	627	148	100	1,470	1,293	2,764	—	(2,764)	—
計	64,707	53,425	31,946	13,059	163,139	1,521	164,660	—	(2,764)	161,896
セグメント利益 又は損失(△)	2,570	1,221	1,584	521	5,897	30	5,928	△461	145	5,611

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでいます。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものです。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	化成品 (百万円)	合成樹脂 (百万円)	電子 (百万円)	ライフ サイエンス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	52,428	38,390	26,250	14,157	293	131,520	—	131,520
(2) セグメント間の内部 売上高	0	38	39	5	1,019	1,103	(1,103)	—
計	52,428	38,429	26,290	14,162	1,313	132,623	(1,103)	131,520
営業利益 又は営業損失(△)	1,405	△170	△44	374	△33	1,531	78	1,609

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレットリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農業原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北東 アジア (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	94,020	22,622	9,932	2,784	2,160	131,520	—	131,520
(2) セグメント間の内部 売上高	11,696	949	197	170	872	13,887	(13,887)	—
計	105,716	23,572	10,130	2,955	3,033	145,407	(13,887)	131,520
営業利益 又は営業損失(△)	1,200	335	36	△17	4	1,558	50	1,609

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北東アジア …………… 台湾、中国

(2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ

(3) 北米 …………… 米国

(4) 欧州 …………… ドイツ

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. (参考) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	36,148	19,876	5,187	3,630	64,842
II 連結売上高(百万円)					161,896
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.3	12.3	3.2	2.3	40.1

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	29,650	12,878	3,263	2,884	48,676
II 連結売上高(百万円)					131,520
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.5	9.8	2.5	2.2	37.0

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。  
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国  
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ  
 (3) 北米 …………… 米国  
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ